

## 令和6年度11月（第8回）雲仙市教育委員会定例会会議録

期 日 令和6年11月29日（金）午前10時00分から午前11時07分

場 所 雲仙市千々石庁舎3階 大会議室

出 席 者 ・大津善信教育長 ・駒田義弘教育長職務代理者 ・永岡悦子委員

・江川儀平委員 ・進藤梓委員

・事務局（小松教育次長、富永総務課長、中村学校教育課長  
宮崎生涯学習課長、草野スポーツ振興課長  
総務課藤田課長補佐（書記））

欠 席 者 なし

### 会議日程

#### 第1 前回会議録承認の件

#### 第2 報告事項

- (1) 教育長の報告
- (2) 各課の事業等の取組状況及び計画
- (3) 各課からの報告

#### 第3 その他

次回雲仙市教育委員会定例会の招集日程について

教育長が令和6年度11月（第8回）雲仙市教育委員会定例会の開会を宣言する。

## 日程第1 前回会議録承認の件

- ・「前回会議録承認の件」を議題とし、教育長から令和6年度第7回定例会会議録署名委員に江川委員及び進藤委員を指名する。

教育長

- ・特に意見、質問が無いことから、令和6年度第7回定例会会議録の承認を宣言する。

## 日程第2 報告事項

### （1）教育長の報告

- ・教育長が月例報告について、資料により説明・報告を行う。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

### （2）各課の事業等の取組状況及び計画

事務局

- ・資料により各課別に説明する。

委員

- ・長崎県市町村教育委員会研究大会において、対馬市の学校統廃合の経過と課題について発表があった。教育長が悩んでいる事項として、小学1年生でもバスで1時間かけて通学している。往復2時間かけて通学している状況にある。通学時間をみると統廃合の必要性について疑問になることがある。また、統合してもなお複式学級になる学校もある。統合を進めるほど保護者の負担が増える。統廃合ではなく存続が必要という学校も出てくるのではないかと。といった悩みがあるということだった。過去の経験で振り返ると、学習意欲が高いと感じたのは対馬の複式学級の子供であった。雲仙市でも今後統廃合が進んでいくと思うが、地域の実情、子ども・保護者の状況等をよく考えてから進めないといけないと感じた。そういった見極めは難しいと思うが、よく検討して取り組んでいただきたい。

委員

- ・自宅付近の子どもが12月から学校の授業が減り、早く帰れるということをやっていた。授業時数の制限の件を教えてください。

事務局

- ・教職員の働き方改革に関連して、文科省から通知が出ている。指導要領では、例えば高学年で年間1,015時間が標準となっているが、実際は1,100時間といった多めに時間をとっている状況である。これが時間外勤務の基となっ

ており、この超過時間をできるだけ縮減するよう通知が出ている。

学校としては、年度当初には、台風とかインフルエンザの流行等による休校などが見込めないので超過した時数で計画を立て、一定期間が経過した7月、12月、3月のタイミングで年間時数の見通しが立った後に時数をカットしていくということを昨年度途中から実施している。保護者には、年度途中で短縮授業があるということを説明をしている。

教育長

- ・他に意見、質問がないことを確認する。

### (3) 各課からの報告

事務局

- ・学校教育課から、雲仙市中学生英語スピーチコンテストについて説明する。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

事務局

- ・教育次長から、令和6年度第4回雲仙市議会定例会の概要について説明する。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

事務局

- ・学校教育課から、千々石第二小学校の統合意向について説明する。

教育長

- ・特に意見、質問がないことを確認する。

### 日程第3 その他

- 1 次回、雲仙市教育委員会定例会の招集日程について、令和6年12月24日（火）午後2時00分から雲仙市千々石庁舎3階大会議室で開催することを確認する。

教育長

- ・他に意見、質問、報告等がないことを確認し、令和6年度11月（第8回）雲仙市教育委員会定例会の閉会を宣言する。